



TITLE:

「中國文學報」總目錄(第六十二冊
- 第七十冊)

AUTHOR(S):

CITATION:

「中國文學報」總目錄(第六十二冊 - 第七十冊). 中國文學報 2005, 70: 1-3

ISSUE DATE:

2005-10

URL:

<https://doi.org/10.14989/177960>

RIGHT:

『中國文學報』總目錄 (第六十二冊～第七十冊)

中國文學報
第七十冊

1 總 記

評點遡源	張 伯 偉	63
人生識字憂患始——中國讀書人の憂愁——	川 合 康 三	67
書評：松原朗著『中國離別詩の成立』	川 合 康 三	67
書評：宮崎法子著『花鳥・山水畫を読み解く——中國繪畫の意味——』	西 村 富 美 子	68
紹介：本邦漢籍目錄書目	山 口 謠 司	68
紹介：本邦漢籍目錄圖録及び解題編書目	山 口 謠 司	70

2 先秦・漢代文學

「三閭大夫」考——あわせて楚國公族の興衰について——	李 零	62
語り得ぬものへのことば——『莊子』における言語問題と言説への意識について——	鈴 木 達 明	66
蒼梧考	大 野 圭 介	68
「悲劇の星雲」との格闘——文學としての『史記』研究序説——	谷 口 洋	70

3 魏晉南北朝文學

峴山の涙——羊祜「墮淚碑」の繼承——	川 合 康 三	62
田園と時間——陶淵明〈歸去來兮辭〉論——	渡 邊 登 紀	66
文學言語としての「看」と六朝詩歌——意味の變遷と唐詩への流れ——	堂 蘭 淑 子	66
六朝の謝啓について	道 坂 昭 廣	69
書評：佐竹保子『西晉文學論——玄學の影と形似の曙——』	青 山 剛 一 郎	64
書評：加藤國安著『越境する庾信——その軌跡と詩的表現』	稻 垣 裕 史	70

4 隋唐文學

音の傳承——唐代における樂譜と樂人——	中 純 子	62
擬古詩の變遷について——陸機から李白まで——	辛 夏 寧	63

成熟と老いの詩學認識——杜甫から歐・梅まで	綠 川 英 樹	63
詩人と傳記作者——盧藏用が抱いた文學觀と陳子昂の形象化——	永 田 知 之	64
元結の敘景と敘情	好 川 聰	64
唐宋古文における「氣」の説と「雄健」の風	副 島 一 郎	65
李德裕と平泉莊	二 宮 美 那 子	67
『隋書』文學傳の人びと——隋代の南朝由來の文人たちをめぐって——	原 田 直 枝	68
山水畫のテキスト化——『永州八記』を例とした分析——	梁 敏 兒	68
晩唐の詠史詩	伊 崎 孝 幸	69
東方朔から孫悟空へ	氏 岡 眞 士	70
書評：松本肇著『唐宋の文學』	五 皓（川合康三・西上勝・淺見洋二・乾源俊・和田英信）	62
書評：賈晉華『唐代集會總集與詩人群研究』	齋 藤 茂	64
書評：笈文生著『唐宋文學論考』	孫 昌 武	65
書評：竹村則行著『楊貴妃文學史研究』	駱 玉 明	67
書評：赤井益久著『中唐詩壇の研究』	愛 甲 弘 志	69
書評：衣若芬『觀看・敘述・審美——唐宋題畫文學論集——』	淺 見 洋 二	69
紹介：中國における唐代文學研究のいくつかの情況について	董 乃 斌	69

5 宋代文學

朱子語類論文篇譯注（八）	興膳宏・木津祐子・齋藤希史	62
文學之樂——梅堯臣晩年の唱和活動と「樂」の共同體——	綠 川 英 樹	65
汪元量の「湖洲歌」九十八首について	稻 垣 裕 史	67

6 宋代文學

『水滸傳』成立考——内容面からのアプローチ	小 松 謙	64
『水滸傳』成立考——語彙とテクニカル・タームからのアプローチ——	高野陽子・小松謙	65

7 明 代 文 學					
弘治本西廂記について	土	屋	育	子	68
書評：田仲一成『明清の戯曲』	高	橋	文	治	63
書評：大木康著『馮夢龍『山歌』の研究——中國明代の通俗歌謡』	伊	藤	徳	子	66
8 清 代 文 學					
『聖諭』宣講——教化のためのことば——	木	津	祐	子	66
9 現 代 文 學					
或る女性の影——周作人の文學的出發——	森		雅	子	69
「不朽」の修辭學——胡適・コスモポリタニズム・白話詩——	福	嶋	亮	大	69
10 比 較 文 學					
高麗朝における杜詩受容——李奎報を中心に——	鄭		堉	謨	69
義堂周信の杜甫受容について	尙		永	亮	70